



飼養衛生管理基準をしっかりと守りましょう！

平成 22 年 11 月から翌年 3 月にかけて、全国の 9 県で高病原性鳥インフルエンザが発生しました。

発生した場合の迅速・的確に対応できる防疫体制を構築するため、家畜伝染病予防法が本年 4 月に改正され、高病原性鳥インフルエンザ等の患畜又は疑似患畜については、特別手当金を交付し、通常の手当金と合わせて当該家畜の評価額の全額が交付されることとなりました。

一方で、家畜伝染病の発生又はまん延を防止するために必要な措置を講じなかった者に対しては、手当金及び特別手当金の全部又は一部を交付しない、又は返還させることとなりました（平成 23 年 7 月 1 日以降）。

ちなみに、平成 22 年 11 月以降に発生した高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜についても、改正後の家畜伝染病予防法の規定がさかのぼって適用され、特別手当金（評価額の 5 分の 1）が交付されましたが、①飼養衛生管理②早期通報③まん延防止の協力等の状況から不適切な者には特別手当金が減額されております。

以下に減額事例について紹介します。

区分	事例	減額理由	罰則
事例 1	飼養鶏の死亡羽数が急激に増加していたにもかかわらず、自ら通報することをせず、翌日、鶏群を食鳥処理場へ出荷していた。	周囲の農場に感染を拡大させる非常に重大な事態と判断された。	特別手当金の 10 割減額
事例 2	飼養鶏の死亡羽数が増加していたにもかかわらず、その確認した同日と翌日に飼養鶏を出荷していた。 飼養衛生管理の面においても、未消毒の河川の水を鶏の飲用に使用し、また、防鳥ネットや鶏舎の壁に破損があった。	周囲の農場に感染を拡大させる非常に重大な事態と判断された。 管理水準が標準より劣っていたと判断された。	特別手当金の 10 割減額
事例 3	飼養衛生管理において、車両用の消毒設備を備えていなかった。防鳥ネット等の野鳥の鶏舎侵入防止対策をしていなかった。未消毒の河川の水を鶏の飲用に使用していた。	飼養衛生管理に不備があったと判断された。	特別手当金の 4 割減額
事例 4	飼養鶏の死亡羽数が増加していることを家畜保健衛生所に通報した前日に、獣医師の検査を受けて高病原性鳥インフルエンザが否定されている。しかし、通報の 2 日前には死亡羽数が大幅に増加していた。	2 日前の時点で家畜保健衛生所に通報すべきであり、このような通報の遅れは、本病まん延の原因となり、その後の発生を引き起こしかねない事態であったと判断された。	特別手当金の 2 割減額

防鳥ネットの破損等を再チェックしましょう！

海外から冬鳥が渡ってくる季節になりました。

11 月には島根県で死亡したコハクチョウから低病原性ではありますがH5N2亜型インフルエンザウイルスが検出されました。

防鳥ネットの破損修理等飼養衛生管理基準を再度チェックし、鳥インフルエンザの発生防止に努めてください。

なお、飼養衛生管理基準チェックシートを添付しますので、自己チェックを行い、出来ていないところは早急に改善してください。

【チェック項目】

- 1 農場の敷地を、衛生管理区域※とそれ以外の区域とに分け、両区域の境界が分かるようになっていませんか。
 - ・関係者以外の立入制限看板
- 2 衛生管理区域への病原体の持ち込みを防止できていますか。
 - ・車両や関係者の消毒
- 3 野生動物による病原体の侵入防止ができていますか。
 - ・防鳥ネット等の破損修理、ネズミの駆除
- 4 衛生管理区域の衛生状態は保たれていますか。
 - ・定期的な清掃・消毒
- 5 家さんの健康観察は行っていますか。
 - ・特定症状※及び異常を確認した場合の家畜保健衛生所への通報
- 6 衛生管理区域に立ち入った者等の記録と保管ができていますか。
 - ・人や車両の出入り、家さんの導入・出荷の記録・保管



※衛生管理区域とは

病原体の侵入を防止するために衛生的な管理が必要となる区域をいいます。一般的には家きん舎やその周辺の飼料タンク、飼料倉庫等を含む区域が衛生管理区域になります。なお、個々の農場によって家きん舎やその他の施設、自宅等との位置関係が様々であるため、不明な点はお相談ください。

※特定症状とは

同一の家きん舎内において、一日の家きんの死亡率が過去三週間の平均家きん死亡率の二倍以上となること。ただし、家きんの飼養管理のための設備の故障、気温の急激な変化、火災、風水害その他の非常災害等高病原性鳥インフルエンザ以外の事情によるものであることが明らかな場合は、この限りではありません。

死亡羽数の増加等異常の場合は休日及び昼夜を問わず直ぐに連絡をしてください。

松本家畜保健衛生所

電話：0263-47-3223（休日・夜間は転送されます）
FAX：0263-47-0101

飼養衛生管理基準 チェックシート

(鶏その他の家きん用)

1. 家畜防疫に関する最新情報の把握	レ 欄
自らが飼養する家きんが感染する伝染性疾病の発生の予防及びまん延防止に関する情報を把握している。	<input type="checkbox"/>
2. 衛生管理区域の設定	レ 欄
衛生管理区域を設定し衛生管理区域以外との境界が分かるようになっている。	<input type="checkbox"/>
3. 衛生管理区域への病原体の持込み防止	レ 欄
(1) 衛生管理区域の出入口に立て看板などを設置し、部外者の立ち入りを制限している。	<input type="checkbox"/>
(2) 衛生管理区域に入る車両の消毒を行っている。	<input type="checkbox"/>
(3) 衛生管理区域及び家きん舎に立ち入る者に手指及び靴の消毒（手指については洗浄又は消毒）を行わせている。	<input type="checkbox"/>
(4) 衛生管理区域専用の衣服及び靴を設置するとともに、家きん舎ごとの専用の靴を設置し、これらを使用している。	<input type="checkbox"/>
(5) 同日に畜産関係施設に立ち入った者及び過去1週間以内に海外から入国した者は、衛生管理区域に立ち入らせないようにしている。 ※家畜防疫員、獣医師、飼料運搬業者等の畜産関係者は除く。	<input type="checkbox"/>
(6) 他の畜産関係施設で使用した物品等で飼養する家きん、その死体又は当該家きんから生産される卵に直接接触する物品を衛生管理区域内に持ち込む場合には、洗浄又は消毒をしている。	<input type="checkbox"/>
(7) 過去2か月以内に海外で使用した衣服や靴は衛生管理区域に持ち込まないようにしている。	<input type="checkbox"/>
4. 野生動物等からの病原体の感染防止	レ 欄
(1) 給餌設備・給水設備及び飼料の保管場所に野生動物等の排せつ物が混入しないようにしている。	<input type="checkbox"/>
(2) 飲用に適した水を給与している。また、野生動物の排せつ物が混入するおそれがある水を使用する場合には、消毒している。	<input type="checkbox"/>
(3) 野生動物の家きん舎への侵入を防止できる防鳥ネット等を設置するとともに、定期的に破損状況を確認し、遅滞なく破損箇所を修繕している。	<input type="checkbox"/>
(4) 家きん舎の屋根や壁面に破損箇所がある場合には、遅滞なく修繕するとともに、ねずみやハエ等の害虫の駆除をしている。	<input type="checkbox"/>

5. 衛生管理区域の衛生状態の確保	レ 欄
(1) 衛生管理区域内の施設及び器具を定期的に清掃を定期的に行っている。	<input type="checkbox"/>
(2) 空になった家きん舎やケージの清掃及び消毒をしている。	<input type="checkbox"/>
(3) 過密な状態で家きんを飼養していない。	<input type="checkbox"/>
6. 家畜の健康観察と異状が確認された場合の対処	レ 欄
(1) 特定症状を確認した場合には、直ちに家保へ通報することとしている。また、その際には家きんはもとより畜産物や排泄物の移動は行わないこととしている。	<input type="checkbox"/>
(2) 特定症状以外の異状を確認した場合には、直ちに獣医師の診療若しくは指導又は家畜保健衛生所の指導を受けることとしている。また、監視伝染病であることが確認された場合には、家畜保健衛生所の指導に従うこととしている。	<input type="checkbox"/>
(3) 毎日、健康観察をしている。	<input type="checkbox"/>
(4) 家きんを導入するときは、健康な家きんを導入している。また、一定期間、導入家きんと他の家きんを接触させないようにしている。	<input type="checkbox"/>
(5) 家きんを出荷するときは、健康状態を確認している。	<input type="checkbox"/>
7. 埋却の準備	レ 欄
埋却のための土地の確保（成鶏100羽当たり概ね0.7㎡）、焼却又は化製のための準備をしている。	<input type="checkbox"/>
8. 感染ルートの早期特定のための記録の作成及び保管	レ 欄
衛生管理区域に立ち入った者、家きんの導入・出荷、健康観察等に関する記録を作成し保存している。	<input type="checkbox"/>
9. 大規模飼養者に関する追加措置	レ 欄
(1) 担当の獣医師又は診療施設を定めている。	<input type="checkbox"/>
(2) 特定症状を確認した場合の家保への通報ルールを定め、従業員に周知している。	<input type="checkbox"/>